



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

- 01 水没に耐える
- 02 キタコブシの開花予報

Vol.322
2024/04/01



鬼丸和幸《氷とける》

Photo 今月の1枚

3月下旬、美幌峠に立ち屈斜路湖を望むと「御神渡り」の跡が見える」…急いで屈斜路湖へ向かい、凍った湖面を歩いて行くと、だいぶ氷が溶けたものの、御神渡り氷柱へたどり着け、見事な氷の造形美に出会えました。気温が上昇したためか、足元の氷が「バリバリ」と次々に割れ始めたため、溺れないうちに、急ぎ陸へ引き返しました。(鬼丸和幸)



01 Green Column グリーンコラム

水没に 耐える

写真・文／鬼丸和幸

ようやく最高気温がプラスになり、急激に雪解けが進んできました。終日快晴予報が出たのを見計らい、久しぶりに郊外の湿原を散策してみました。

豊富な残雪が残る湿原の中を、遊歩道を離れ、凍った地面の上を歩いて行くと、林を抜けた草原の中に、1本の立派なハンノキが立っている姿を見つけました。この場所は、夏の間は、背が高いヨシやスゲといった湿生植物が繁茂して、見通しが悪い場所なのですが、まだ木々が葉をつけないこの時期は、視界が効き、特徴的な形態で枝を伸ばすハンノキの姿を見ることができ、さらに、木の根本周辺には、ひっそりとした、雰囲気のある小沼があることまでわかりました。

ハンノキは耐水性があり、他の植物が酸欠状態になり、侵入できないような、水分が多い湿地でも生育すること

ができるため、北海道の低地に広がる湿原では、草原チックに広がる風景の縁を、ハンノキが取り囲むように広がっている様子を、所々で見ることができます。

しかし、耐水性があるとは言え、ハンノキの根は、垂直方向に地中深くまで伸びる形態となっていないため、地盤のゆるい湿原のような場所だと、台風など大風が来たような時には、すぐに倒れてしまうという、危険を持ち合わせることとなります。

ハンノキの花言葉は、「不屈の心」「忍耐」。普通に考えると、木が育つには不適な湿原で生き抜くハンノキの姿を想像すると、ピッタリの言葉かも知れませんね。

キタコブシの 開花予報

写真・文／城坂結実



美幌博物館講座「スノーシューで樹木観察」を、2月10日に開催しました。北海道では、広葉樹とよばれる樹木のほとんどは、秋に葉を落とします。樹木の葉は、種類を見分ける大きな手がかりとなるのですが、葉が落ちた冬に樹木を見分けてみよう！ということで、博物館講座では、観察しながら樹木を見分けるコツを学びました。

青天の下、観察会は博物館の駐車場からスタート。博物館周辺だけでも、ホオノキやカツラなど様々な樹木が見つかります。冬に樹木を見分けるには、幹の様子と、冬芽（「とうが」とも呼びます）の形がカギ。冬芽は、翌春に葉や花となる器官です。

ホオノキは、幹が濃黒色で白い点が入り、冬芽は長くて滑らかな肌触り。カツラは、幹に縦にスジが入り、冬芽は動物の蹄のような形。といったよう

に、近づいてじっくり観察してみると、冬の樹木の豊かな個性が見えてきます。

参加者のみなさんとスノーシューを履いて、美幌みどりの村森林公園内へ足を延ばし、2時間ほどで約10種類の樹木を観察することができました。中には、早春に大きな白い花を咲かせるキタコブシも。キタコブシの冬芽は、柔らかい毛に覆われているのが特徴で、特に枝先には、写真のように一際大きく目立つものが付きます。これは花になる冬芽で、キタコブシは冬のうちに花の咲く数を予想することができます。

美幌博物館に隣接するKITENの周りのキタコブシは、花を咲かせる冬芽をたくさんつけています。きっと満開の白い花が、春の訪れを告げてくれることでしょう。

Exhibition 展示

特別展「フィルムで振り返る美幌の歴史」

10月20日(日)まで

第3展示室展示替えのお知らせ

4月2日(火)～7日(日)はご観覧いただけません。

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

プチ工房「光の箱」

4/19(金)、20(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師/鬼丸和幸(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどの
ご希望がございましたら、同封のハガキでお知らせください。



Tweet つぶやき

新型コロナが5類に移行した昨年度は、お陰様で、たくさんのお客様
にご来館いただくことができました。来月のこどもの日には、博物館名物のせんべい焼き体験も復活します！博物館
が賑やかになると思うと、春に向けてワクワクする気持ちが一段と膨らみます。(城坂結実)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】城坂結実

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

